

週間国際経済2017（3） 01/21～01/31

01/22・米国第一へ政策転換 TPP離脱・NAFTA再交渉 トランプ流就任早々 < 1 >
オバマケア（医療保険制度改革法）見直し 温暖化ガス削減「気候行動計画」も破棄

01/23・トランプ首脳外交27日始動 まず英とFTA交渉 2国間交渉の布石に

01/24・米、TPP[永久に離脱] トランプ氏が大統領令 「公平な貿易」日本に要求 < 2 >
・ムニューチン次期米財務長官 ドル高「短期的に悪影響」 円高、一時112円台

01/25・トランプ氏、大統領令連発 「小さな政府」や「中絶反対」保守的な政策推進
「オバマ遺産」撤廃アピール
・ホワイトハウスで自動車「ビッグ3」トップと会談
トランプ氏、米に工場新設要求 フォードCEO、ドル高是正求める
・日本、昨年6年ぶり貿易黒字4兆円、原油安で < 3 >
対米黒字は2年ぶり減の6.8兆円 自動車輸出は拡大

01/26・トランプ氏「正統性」に固執 低支持率に不満と焦り < 4 >
・米、環境より産業優先へ 原油パイプラインを推進 環境対応の機運後退か
・日本2020年黒字化困難に 基礎財政収支の赤字8.3兆円に拡大
・NY株終値初の2万ドル トランプ相場で金融主役 上昇急ピッチ警戒感 < 5 >
・メキシコ国境に壁署名 米大統領令「直ちに建設」 米メキシコ首脳会談中止

01/27・トランプ氏、2国間協定に為替条項「通貨安誘導を制限」と表明
日本金融政策が標的懸念 通貨と通商、二重の圧力
・日本昨年消費者物価4年ぶりマイナス 0.3%下がる 年金受取額は0.1%下げ

01/28・トランプ氏、大統領令で難民受け入れ中断 テロ懸念指定国家に90日間ビザ停止
・米成長率1.9%に減速（10～12月） 輸出減、投資は上向き < 6 >

01/29・米英首脳会談（27日ワシントン）強まる「自国第一」実利優先、揺らぐ世界秩序
EU、離脱前交渉けん制 欧州分断を警戒
・日米電話協議 来月10日首脳会談 TPPにはふれず
トランプ氏、日本の車産業に雇用要請 日本、対米貢献強調へ 首相、トヨタ社長と会談へ

01/30・入国制限、米で反発拡大 州司法長官ら「違憲」と非難 産業界も反発
フォード、GE、ゴールドマン・サックス、スタバ、アップル、グーグル

01/31・米、TPP離脱を正式に伝達 通商代表部が参加各国に書簡

<1>

就任初日に発表した政策は多岐にわたる
(ホワイトハウスの発表文から)

■ エネルギー	「米労働者のコストを下げるエネルギー政策を約束する」 → OPECなどへのエネルギー依存から脱却
■ 外交	「力を通じた平和構築が外交政策の中心だ」 → ISやイスラム過激派テロ組織を根絶
■ 雇用・経済	「雇用を殺す規制を探して緩和する」 → 経済成長を促進、2500万人の雇用創出
■ 軍事	「他国が我々の軍事力を上回ることを許さない」 → イランや北朝鮮を念頭にミサイル防衛システムを開発
■ 司法	「全ての米国民の安全確保のために戦う」 → 国境に壁を建設し、不法移民やギャング、薬物の流入を防止
■ 通商	「米国民はワシントンのエリートを利用する協定を長く押しつけられてきた」 → TPP離脱、NAFTA再交渉または脱退

<2>

▼米大統領令 大統領令が議会の承認を得ることなく連邦政府や軍に直接発令することができる権限のこと。権限の制限範囲は憲法で明確に規定されていないが、議会の同意を要する法律を制定する権限は、議会の過半数を野党の共和党が占めるねじれ状態の中、議会の調整が不要な大統領令に頼り、共和党の反対する法律を

作ること、大統領令に抗することができる。最高裁判所が違憲判断を出すことがあり、オバマ前大統領の閣内、議会の調整が不要な大統領令に頼り、共和党の反対する法律を

<3>

2016年の国・地域別の貿易収支
(単位: 億円、カッコ内は前年比増減率%)
▲は減少または赤字、アジアには中国含む。差引額は四捨五入の関係で一致しない場合がある

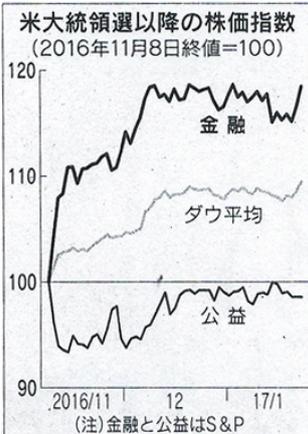
	輸出額	輸入額	差引額
総額	700,392 (▲7.4)	659,651 (▲15.9)	40,741 (—)
米国	141,431 (▲7.1)	73,084 (▲9.3)	68,347 (▲4.6)
E U	79,821 (▲0.0)	81,361 (▲5.7)	▲1,540 (▲75.9)
アジア	371,098 (▲8.0)	331,883 (▲13.5)	39,215 (99)
中国	123,622 (▲6.5)	170,153 (▲12.4)	▲46,531 (▲25)
中東	25,847 (▲18.4)	65,011 (▲32.1)	▲39,164 (▲38.8)

<4>

トランプ氏は就任直後から感情的な主張を続けている (大統領側の主張と主なメディアの批判)

	トランプ大統領	スパイサー報道官	主なメディア
就任式の入出	(8年前から減ったといった報道に)嘘だ。100万~150万人はいた	報道は虚偽。過去最大	報道官の説明は誤りの連続だ
の不法移民	300万~500万人がクリントン氏に投じた	大統領は研究や証拠を基に信じてきた	不適切な証拠を使って根拠のない主張を続けている

<5>



<6>

10~12月期の米GDP速報値

	金額 (億ドル)	増減率 (%)
国内総生産	168,048	1.9
個人消費支出	116,404	2.5
民間設備投資	22,055	2.4
民間住宅投資	5,968	10.2
民間在庫投資	487	—
純輸出	▲5,996	—
輸出	21,384	▲4.3
輸入	27,380	8.3
政府支出	29,149	1.2
GDPデフレーター	—	2.1

(注) 金額は季節調整済み、年率。2009年基準価格。増減率は前期比年率。▲はマイナス。出所は米商務省